

「盛岡商 齋藤重信発 夢は叶う」

（齋藤 重信著 ベースボール・マガジン社）

この著書は、第85回全国高校サッカー選手権（2007年1月）で盛岡商を初優勝に導いた監督・齋藤重信先生の指導の道筋を自らの視点で振り返ったものです。齋藤先生は同高を卒業後、順天堂大学に進み、卒業後の1970年に保健体育教諭として遠野農（現・遠野緑峰）に赴任し、その後は盛岡商―大船渡―盛岡商と転勤する。それぞれでサッカー部の監督を歴任し、2002年には日本高校選抜の監督も務めました。教え子にはサッカー元日本代表の小笠原満男選手がおり、「あの情熱は誰も真似できない」というように常に前向きな姿勢でつき進み、雪国のハンディを乗り越え、また先生自身も大きな病に2度まで襲われながら、指導歴37年目で栄冠をつかみました。

私は長く教員採用試験に挑戦し、ようやく平成22年度採用の試験で合格することができましたが、それまで毎年のように‘不合格’という結果が出ると、次年度に向けて自分を奮い立たせるための本を、書店に探しに行くということを繰り返していました。そして、合格する前年に手にしたのがこの本です。真っ先に「夢は叶う」というタイトルに惹かれて購入しました。

本書の主な内容

- 好きなことは一生懸命にやれ
- 勝ったら自分に拍手、負けたら相手を称え、笑顔で
- 夢を叶えた時は笑顔がふさわしい
- 忠実に走って幸運をつかむ
- いい高校生がいい選手になる
- 人を育てるには我慢も必要
- 心を伸ばせ
- 「ありがとう」の重みを胸に

～優勝して応援してくれた方々から「ありがとう」の言葉をいただいたのは、選手たちの一生懸命頑張ったひたむきな姿への感動だった。～

今年度強化部で、この書籍リレーの企画が出た時に、私が紹介できる本は何かと悩んだのですが、私にとっては運命の本ともいえるこの本を紹介しようと考えました。私自身も高校時代に恩師に常々言われ続けた、「夢のためにこつこつ努力することの大切さ」を思い出しながら、この本を読み終えるとまた熱い気持ちになり、前向きに頑張ろうと切り替えができました。人間誰でも気持ちが落ち込んだり、ネガティブ・シンキングに陥る時が必ずあると思います。気持ちの切り替え方は人それぞれさまざまだと思いますが、私はそんな時には書店でまた運命の本を探したいと思っています。